



たくさんのお仕事楽しんだよ！
グッジョブ久米島 わくわくワーク

仕事を体験することで児童の就業意識の向上を図ることを目的に、職業体験型イベント「グッジョブ久米島 わくわくワーク」が1月17日、具志川改善センターにて開催されました。町内の児童ら約260名が参加し、16のお仕事を体験するブースが設けられました。義肢装具士の仕事体験では、義足をつくる時に行う「採型」を行い、体験後の児童は「石膏で指のコピーを作るのがおもしろかった。障がいのある人を支えているということがわかった」と感想を述べました。

ムーチー行事でヒージャーオーラセー

旧暦12月8日はムーチーの日。1月24日町内では字仲地や山里で伝統行事が行われ、農作物の品評会「ハルヤマスープ」や学事奨励会などが開かれました。字山里では約40年ぶりとなるヤギの対戦「ヒージャーオーラセー」が行われました。5頭のヤギが出場し、立ち上がって角と角を激しくぶつけ合う大きな音に、観客らからは歓声があがりました。参加者が楽しむ様子に山里区長は「来年は近くの集落にも呼び掛けて一緒にやりたい」と喜んでいました。



夢をかなえるための勉強法を学ぶ

1月27日(土)球美中学校体育館において「夢をかなえる努力の法則」と題し教育講演会(主催:町企画財政課)が開催されました。講師の清水章弘氏はNHK教育テレビ『テストの花道 ニューベンゼミ』にも出演されており「勉強とは“できない”を“できる”にすること」と学ぶ楽しさについて講話されました。効率的な勉強方法などの具体的なアドバイスに参加者からは「すぐに家庭で実践できそう」との声が聞かれました。



佐賀市との中学生交流
第6回佐賀市・久米島町中学生交流会

12月15日～17日の3日間、佐賀市・久米島町中学生交流会が開催され、島内2中学校1年生代表15名が佐賀市を訪問しました。市内見学では「11代齊藤用之助公」のお墓参りや、世界遺産の三重津海軍所跡、佐賀バルーンミュージアムなどを見学。また、佐賀大学海洋エネルギー研究センター池上康之教授による貴重な講話を聴いたり、スキー体験や佐賀の名物でもあるバルーン搭乗体験など、様々な体験をしながら佐賀市交流生との交流を深めました。



プリップリで美味しい
島内産のクルマエビが給食に登場

1月31日島内小中学校の学校給食に島内産のクルマエビメニューが登場しました。これは、県車海老漁業協同組合が、地域ビジネス育成強化事業の一環で実施されたもの。当日は6小学校に、島内の車海老5事業所から講師が派遣され、給食前にクルマエビに関する講話が行われました。仲里小の6年生のクラスには久米総合開発(株)深澤工場長が訪れ、児童らにクルマエビの養殖工程や生産量、おいしい食べ方などを講話しました。



日ごろの成果を披露
第16回久米島町ヤングフェスティバル

1月14日具志川環境改善センターで久米島町ヤングフェスティバルが開催されました。これは「若者の自主性や創造力を育むこと」を目的に開催しており、今回は13団体が参加。ダンスやピアノ演奏、琉球民謡、空手古武道、太鼓演舞など日頃励んでいる活動の成果を発表しました。また久米島町教育委員会児童生徒表彰も行われ、児童生徒7名と2団体が表彰を受けました。会場には、保護者をはじめ約250名が来場し、子供達には激励の拍手が送られました。



パークゴルフ大会で久米島勢が健闘
第6回HONMAカップ沖縄大会in久米島

2月16日久米島シーサイドパークゴルフ場で「HONMAカップ沖縄大会in久米島」が開催され、県内外、韓国から192人がエントリーしました。当日は天候に恵まれ青空のもと試合が行われると、北海道からの参加者らは暖かさに驚きを隠せない様子でした。大会結果【男子】優勝・国吉修(字鳥島)／準優勝・仲原久(字真謝)／3位・比嘉直樹(字仲泊) 【女子】優勝・佐伯俊子(富山県)／準優勝・長谷川光江(千葉県)／3位・又吉孝子(字仲泊)



久米島紬フェア
2月6日は久米島紬の日

久米島紬の日の2月6日を前に、2月3日(土)4日(日)の両日にユイマール館で紬フェアが行われました。新作商品「久米島紬男物」の展示のほか、織りや着付けが無料で体験できるコーナー、着付け体験参加者らによるミニファッションショーが行われ、多くの町民らが参加しました。また2月6日には、ユイマール間において交流会が開かれ、関係者らが久米島紬を身にまとい出席し、今後の久米島紬事業の発展を確認しました。

